

H30年度 出前講義 一覧

番号	部局等名	職名	氏名	出前講義 (小学校・中学校・高等学校)	テーマ	講義内容	受講対象	特記事項	その他
1	創造工学部	教授	角道弘文	○	香川におけるため池の特徴と多面的機能	ため池は産業や生活に欠かせない水を蓄える人造湖です。ため池は人工構造物でありながら多様な生物の生息を支えているのですが、ため池の成立過程、特徴、立地環境などを踏まえ、ため池の魅力について探っていきます。	高校生、一般など、応相談	随時	
2	創造工学部	教授	末永慶寛	○	豊かな海を創造する環境改善技術	瀬戸内海沿岸域の都市化や各種開発に伴う流入負荷の増大は、様々な環境問題を引き起こしています。本講義では、水産資源の生産力を向上させ、好適な生物生息場の提供と「豊かな海」を創造するための技術を解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
3	創造工学部	教授	寺林 優	○	フィールドワークで地球を探る	地球の過去を調べることによって未来を予測することが、地表の岩石を調べることによって地球の深部での出来事を明らかにすることができます。世界各地でのフィールド調査を写真などで紹介し、何をどのようにして明らかにしたかを紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
4	創造工学部	教授	長谷川修一	○	地域の災害特性を知ろう	災害から身を守るには、自然災害の知識だけでなく、地域の災害特性を知る必要があります。地域の災害特性は、ある程度地形から知ることができます。災害列島における暮らし方を考えてみましょう。	高校生、一般など、応相談	随時	
5	創造工学部	教授	松島 学	○	建築構造の歴史 ～古代から近代へ～	古代ギリシャの神殿から始まり、建物の構造は、時代背景、文化、技術の進歩とともに変化してきました。本講義では、歴史と技術の変遷について易しい内容で解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
6	創造工学部	教授	山中 稔	○	ため池底泥の特徴と有効利用	香川県内には1万5千ものため池が分布し、ため池密度は日本一です。多くのため池には底泥(ヘドロ)が堆積し、貯水容量の減少や、水質悪化が深刻化しています。香川県内のため池底泥の特徴と、緑化材料や堤体材料への活用技術を紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
7	創造工学部	教授	吉田秀典	○	環境保全と科学技術	世界にはまだ多くの公害が存在し、温室効果ガスによる地球温暖化なども生態系を破壊しつつあります。我々がどのように地球に負荷をかけてきたのか、その結果、何が起こったのか、科学技術がどのようにして解決を図ろうとしているのかを紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
8	創造工学部	准教授	石塚正秀	○	河川環境研究の最前線 ～水と生活との関係～	最近、河川の水質はきれいになってきています。しかし、瀬戸内海の水産資源は減少しています。この講義では、水をキーワードとして、未来の環境のために何を考えることが大切なのかについてお話します。	高校生、一般など、応相談	随時	
9	創造工学部	准教授	岡崎慎一郎	○	頑丈で長持ちする建物のつくりかた	建物の中に居住している人間が、地震時であっても無事であるためには、建物が頑丈であり、この頑丈さが長続きしなくてはなりません。この講義では、頑丈で長持ちする建物のつくりかたについて学びます。	高校生、一般など、応相談	随時	
10	創造工学部	教授	紀伊雅敦	○	よりよい暮らしのための都市計画	よりよい暮らしのために人間は都市づくりに多くの力を注ぎました。都市計画がどのように暮らしを変えてきたのか、よりよい暮らしとは何か、また、今後どのような計画が必要とされるのかを、国内外の事例を交えて紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
11	創造工学部	准教授	野々村敦子	○	空間情報の役に立つ使い方	災害直後には道路が寸断され、現場に行くことが困難なことがあります。現地の状況および過去から現在に至る変化を広範囲において捉えるために有効なりモートセンシング技術と地理情報システム(GIS)についてご紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
12	創造工学部	准教授	宮本 慎宏	○	歴史的建造物の保存と活用	神社や寺に代表される日本の歴史的建造物は、地域のシンボルとして大切に受け継がれてきました。このような歴史的建造物の修復方法や活用方法とともに、地震や台風などの自然災害から建物を守る技術について紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
13	創造工学部	講師	中島美登子	○	建築環境とユニバーサルデザイン	少子高齢化により福祉、医療などへの対策が重要な課題となっています。すべての人が安心して快適に暮らせることを目指す福祉の視点から、ユーザー本位の施設づくりやまちづくりについて調査事例をもとに紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
14	創造工学部	講師	守屋 均	○	人間活動と植生の変遷	昭和30年代以降、エネルギー源は木質燃料から化石燃料や原子力へ転換していきました。時代とともに移り変わってきた人間活動と植生の関係や、香川県における近年の植生の変化について紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	

15	創造工学部	助教	釜床美也子	○	伝統建築の知恵を現代社会に活かす	日本の伝統民家は、地域や時代による違いを詳しく調べてみると、伝統建築の多様な形や知恵が分かってきました。気候風土や地域資源に基づいてつくる建築のお手本とも言え、現代建築への応用も始まっています。その一端をご紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
16	創造工学部	助教	藤井 容子	○	わかっていたつもりユーザーとニーズ	福祉施設の設計では、施設に関わる多様な人々の視点からニーズを引き出すことが求められていますが、自分の声が届かないユーザーや見過ごされてきたニーズについて、国内外の福祉施設の暮らしの事例を通して考えてみたいと思います。	高校生、一般など、応相談	随時	
17	創造工学部	教授	垂水 浩幸	○	コンピュータが社会を支えている	コンピュータはとても広く使われています。インターネットで検索や買物ができるのも、ご飯がおいしく炊けるのも、テレビが見られるのも、みんなコンピュータのおかげです。目に見えないところで活躍するコンピュータの役割について説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
18	創造工学部	准教授	香川 考司	○	プログラミングの世界	コンピュータはプログラムという指令がなければ動きません。コンピュータのプログラムとはどういうものか大雑把に説明するために、お絵かきを題材にしたプログラムを紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
19	創造工学部	准教授	富永 浩之	○	情報処理の考え方	トランプを使ったゲーム感覚のグループ作業を行います。コンピュータに命令を伝えるアルゴリズムや、ソフトウェアを作成するときの設計の考え方を、コンピュータを使うことなく体験的に学習します。	高校生、一般など、応相談	随時	
20	創造工学部	准教授	富永 浩之	○	ゲーム課題による LEGO プログラミング	LEGOロボットをコントロールするプログラムを作成し、ゲーム課題に挑戦します。4人程度で1グループを組み、演習形式で進めます。マウスで画面上のブロックを組み立てる簡単な操作で、プログラミングの手順や考え方を体験します。	高校生、一般など、応相談	随時	
21	創造工学部	教授	荒川 雅生	○	最適化の使われているところ	最適化という技術は、例えば、宇宙産業の場合、軽量化することを目的とした最適化が盛んにおこなわれていました。現在では、自動車の部品の開発などにも使われています。どのように実際に最適化が入り込んでいるのかを説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
22	創造工学部	教授	荒川 雅生	○	チームワーキング	スパゲティビルドを通じて、チームワーキングに必要な役割分担とはどういうことなのか手を動かしながら楽しくわかるようにしていきます。	高校生、一般など、応相談	随時	
23	創造工学部	教授	今井 慈郎	○	2進数の世界	コンピュータは2進数で動いていると言いますが、何故「2進数」が選ばれたのでしょうか？「2進数(Binary)の世界(要するに「0、1」の世界)」について一緒に考えてみましょう。	高校生、一般など、応相談	随時	
24	創造工学部	准教授	八重樫 理人	○	地域活性化のための情報技術活用について	八重樫研究室が開発した広告表示プリンタシステム「カダポス/KadaPos」や観光日記生成印刷システム「KaDiary/カダイアリー」の開発を通して得た知見から、地域活性化のための情報技術活用について説明する。	高校生、一般など、応相談	随時	
25	創造工学部	准教授	八重樫 理人	○	教育における情報技術の活用について	情報技術は教育の高度化・豊富化を実現する技術として注目されている。香川大学が実践した情報技術を活用したさまざまな教育実践を紹介するとともに、教育機関における情報技術の活用について説明する。	高校生、一般など、応相談	随時	
26	創造工学部	准教授	八重樫 理人	○	社会を支える情報技術	情報技術を社会を支える必要な基盤技術である。香川大学八重樫研究室では、社会課題の解決をめざした情報システムを開発している。八重樫研究室が開発した広告表示プリンタシステム「カダポス/KadaPos」や観光日記生成印刷システム「KaDiary/カダイアリー」を紹介するとともに、社会における情報技術の役割について講義する。	応相談	高等学校	
27	創造工学部	教授	林 敏浩	○	e-Learning は、いいラーニング？	教育は比較的古い時代からICTの利活用が行われてきた分野であり、2000年頃からe-Learningという言葉が一般的になってきました。この授業では、e-Learningの特徴を説明しながら、e-Learningを利用する学習者として気をつけなければいけない点などにも触れたいと思います。	高校生、一般など、応相談	随時	
28	創造工学部	准教授	後藤田 中	○	スポーツにおけるICT援用	テレビでも、いくつかの競技において、コーチや監督がタブレットを片手に選手に戦略を指示するシーンも目につくようになってきました。現代のスポーツのICT援用技術の紹介と、今後のICT技術を活用したスポーツの未来像について紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
29	創造工学部	教授	垂水 浩幸	○	情報関連法	著作権法、インターネット関連法、セキュリティ関連法等について、要点をお話することができます。ご要望とのマッチングのため、出前講義の内容については事前にご相談いただけると幸いです。	高校生、一般など、応相談	随時	

30	創造工学部	准教授	安藤 一秋	○	ことばをコンピュータで処理する技術	人間が使っている自然言語を、コンピュータで処理する技術を自然言語処理とよびます。自然言語処理は、近年注目を集めている人工知能を実現するための重要技術の一つです。自然言語処理の歴史や基礎技術、応用技術などを紹介します。	高校生、一般など、応相談		
31	創造工学部	准教授	高木 智彦	○	ソフトウェアの高信頼化に関する技術	ソフトウェアの欠陥(バグ)はコンピュータの誤動作を引き起こし、時に利用者や社会に重大な影響を与えます。本講座では、ソフトウェアの開発工程において欠陥を効果的に見つけ出し、高い信頼性を実現するための技術について紹介します。	高校生、一般など、応相談		
32	創造工学部	講師	高橋 享輔	○	社会に役に立つ情報システムとは？	本講座ではソフトコンピューティング(ニューラルネットワーク、遺伝的アルゴリズム、マルチエージェントシステム、セルオートマトン等)や Web システム開発技術を活用した応用アプリケーションの開発事例を紹介します。	高校生、一般など、応相談		
33	創造工学部	教授	最所 圭三	○	コンピュータを覗いてみよう	コンピュータは世の中の至る所で様々な形で使用され世の中を支えています。これらのコンピュータの仕組みやデータの取り扱い、コンピュータを動作させるためのオペレーティングシステムなどについて解説します。	高校生、一般など、応相談		
34	創造工学部	教授	井面 仁志	○	災害状況再現・対応能力訓練システム	災害状況再現・対応能力訓練システムは、3D-VR(3次元バーチャルリアリティ)を用いて、想定を超える災害状況を再現します。その一つとして、小学校の先生を対象とした避難訓練シナリオを紹介します。	高校生、一般など、応相談		
35	創造工学部	准教授	石井 光治	○	電気通信今昔ものがたり	電磁気現象の発見を契機に始まった電気通信の歴史とそれを支える技術について説明します。有線通信から無線通信への移り変わり、携帯電話開発の裏話、最近の無線通信技術を応用した環境保護や医療技術についても紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
36	創造工学部	助教	松岡 諒	○	ヒトの知覚とカメラのしくみ	シーンの光情報を忠実に保存・再現することが出来るデジタルカメラは、産業、医療などの幅広い分野の発展に大きく貢献しています。そこで、デジタルカメラの原理とその画像処理について紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
37	創造工学部	教授	堀川 洋	○	ニューラルネットワーク	Deep Learning(深層学習)は1980年代にブームを巻き起こしたニューラルネットワークの進化版です。ニューラルネットワークと Deep Learning とはどのようなものかについて解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
38	創造工学部	教授	神野 正彦	○	光ファイバ通信のしくみ	この講座では、光信号はどうやって作られるのか、光信号がどうやって光ファイバで運ばれ、地球の裏側まで情報が伝えられるのかを分かりやすく説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
39	創造工学部	教授	丸 浩一	○	光の干渉を計測や通信に活かす	光を適切に混ぜ合わせて干渉させることで得られるさまざまな現象が、計測、通信、医療などの幅広い分野に活かされています。本講義では、光干渉を利用した速度計測技術や通信に用いられる光デバイスをご紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
40	創造工学部	助教	森 裕	○	3D 映像技術とホログラフィ	物体から反射してきた光をそのまま記録・再生できる技術に応用したホログラフィックディスプレイが、本物を見るのと同じようにごく自然に立体視できる方法として注目されています。現状の 3D ディスプレイとその課題についてご紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
41	創造工学部	教授	丹治 裕一	○	電気を作り、送ること	生活の中で何気なく使っている電気が、どのように作られ、送られているかを知ることは、私たちが直面しているエネルギーの問題を理解・解決していくために、大いに役立つと思います。これらの仕組みについて、分かりやすく説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
42	創造工学部	准教授	浅野 裕俊	○	生体情報を利用した機器とその可能性について	我々の身体から得られる心拍や脈拍といった生体情報を利用した機器は健康管理以外にも様々あります。本講義では、身近な例を挙げて、機器とその可能性についてわかりやすく説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
43	創造工学部	教授	北島 博之	○	ペットボトルを使った協調運動	ペットボトルのふたに穴をあけてひっくり返すと【水が落ちる】⇔【空気が入る】を繰り返します。それでは、2つのボトルをチューブでつなげるとどうなるでしょうか？ 実験をして確かめてみましょう。	高校生、一般など、応相談	随時	
44	創造工学部	教授	三木 信彦	○	ケータイのつながる仕組み	生活必需品となりつつある携帯電話ですが、どうやって、どこにいても電話をかけたり、かかってくるのでしょうか。このつながる仕組みについて説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	

45	創造工学部	講師	松下 春奈	○	人工粘菌アルゴリズムで迷路を解こう！	粘菌(アメーバ)は、迷路内の離れた2点に餌を置くと2点間を結び最短経路に変形することが知られています。このような粘菌をモデル化した人工粘菌アルゴリズムと迷路実験への応用などを紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
46	創造工学部	准教授	石原 秀則	○	窓ふきロボット	窓に張り付いて窓掃除をするロボットを例に、ロボットを実現するために必要な技術や知識を紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
47	創造工学部	教授	石丸 伊知郎	○	光の色鉛筆 —光の不思議と生体医用計測への応用—	不思議な光の基本的な性質と、光を用いた生体医用計測技術の研究について講義します。この光による計測は、日常的な健康管理や、ガンなどの早期診断に役に立つ技術です。	高校生、一般など、応相談	随時	
48	創造工学部	教授	郭 書祥	○	バイオ医療用マイクロロボットシステム開発	バイオ医療用マイクロロボットシステムの基本構造と動作原理および開発課題を紹介する。本研究室にて開発した管内マイクロロボット、水中マイクロロボットの開発例を紹介する。	高校生、一般など、応相談	随時	
49	創造工学部	准教授	佐々木 大輔	○	着るロボットとは!?	高齢化社会の到来によって生じている様々な問題を解決する一つの方法として、直接身につける「ウェアラブルロボット」の開発が盛んに行われています。服のようなソフトな着心地のウェアラブルロボット開発に関する研究事例を紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
50	創造工学部	准教授	寺尾 京平	○	ナノの世界から見た機械と生き物	髪の毛の太さの一万分の一、ナノメートルの領域から見ると、細胞の中ではたらく、さまざまな分子機械が見えてきます。最先端の研究を紹介しながら、機械の視点から見た生き物、特に細胞のはたらきについて解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
51	創造工学部	准教授	吉村 英徳	○	新幹線の先端や日本刀の造り方	新幹線の先端のような曲面の大きなパネルや日本刀のような硬い刃は、削って作るのではなく、ハンマーで叩いて形を変えたり、加熱冷却して鍛えたりして材料を加工します。変形させて作る加工技術について紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
52	創造工学部	教授	掛川 寿夫	○	真のアンチエイジングを学ぼう	地球上の歴史における化学物質の進化プロセスに病気発生やエイジング(老化)現象の要因が隠されています。生命の起源である化学進化をたどり、その中で発見された機能性化合物を利用した機能性化粧品等の実用化は魅力的な研究開発の一つです。	高校生、一般など、応相談	随時	
53	創造工学部	教授	馮 旗	○	太陽光発電とクリーンエネルギー	エネルギーと環境との関連、環境にやさしい太陽電池等の太陽光発電技術開発の現状と未来をわかりやすく解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
54	創造工学部	教授	石井 知彦	○	化学結合・化学反応・化学安定性を支配する電子	分子は、化学結合によって原子同士が結びつくことで構成されています。電子が分子の表面にどのように分布しているのかを調べることで、さらに分子同士の化学反応や分子の安定性などについて理解することが出来ます。	高校生、一般など、応相談	随時	
55	創造工学部	教授	舟橋 正浩	○	液晶の世界	液晶は液体と結晶の中間の性質を持っており、コンピューターやテレビのディスプレイに使われています。自然の中でも、コガネムシの羽など、色々な所に液晶が活躍しています。液晶ディスプレイと自然の中の液晶について、わかりやすくお話しします。	高校生、一般など、応相談	随時	
56	創造工学部	准教授	上村 忍	○	界面での分子の動き	人間の皮膚は、酸素を取り込んだり、二酸化炭素や汗を放出、といった機能を有しています。皮膚のように異なる環境と接する最表面とその近傍を界面といい、様々な機能を生み出す場となっています。界面での分子の挙動や現れる性質に関して紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
57	創造工学部	講師	磯田 恭佑	○	化学と芸術	化学者は人類の生活を豊かにし、芸術家は人類の文化を豊かにしてきました。さて、無理矢理接点を持ってみては面白いのでは？化学や芸術を支えた人物、材料およびそれらの関係性をお話しします。	高校生、一般など、応相談	随時	
58	創造工学部	教授	小柴 俊	○	空気がなくなると—真空技術—	地上には空気がありますが宇宙にはありません。それを作り出す真空技術は宇宙開発にもインスタント食品にも使われています。講義では真空状態の様子や真空技術の紹介をします。	高校生、一般など、応相談	随時	
59	創造工学部	教授	須崎 嘉文	○	ヒット商品と科学技術	最近のヒット商品にはどのようなものがあるのだろうか？どのようにしてヒット商品が生まれるのか？これらの疑問について答え、科学技術および材料創造工学との関係、技術者の仕事についてわかりやすく紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	

60	創造工学部	教授	鶴町 徳昭	○	光と物質の不思議な世界	20世紀三大発明の一つであるレーザーを用いた簡単な実験を行います。レーザー光線で風船を割ることは可能か？物質の様々な色と光の吸収の関係はどのようなものか？などについて量子論を基に解説いたします。	高校生、一般など、応相談	随時	
61	創造工学部	准教授	宮川 勇人	○	磁石のしくみと磁性材料	なぜ磁石にひきつけられるものと、そうでないものがあるのでしょうか？磁石のしくみと機能について解説し、電気モーターなど、我々の身の回りで応用されている幾つかの磁性材料についてわかりやすく紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
62	創造工学部	助教	山口 堅三	○	見えないものを見る	『見えないものを見る』と言われると、皆さんはどのようなことを思い浮かべるでしょうか。私たちの体内の様子や空港の手荷物を検査するレントゲン撮影でしょうか。このような日常生活では見えないものを見る技術を紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
63	創造工学部	教授	若林 利明	○	摩擦のコントロール	もし摩擦がなかったら、滑って歩くことはままならないし、はなはだ困った事態に陥ります。摩擦という現象の基礎的な知識に触れながら、それがどのようにコントロールされ、先端技術や環境問題への対応にどう応用されているかを解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
64	創造工学部	教授	田中 康弘	○	身近な生体・歯科材料と電子顕微鏡で見る原子の世界	口腔内の衛生状態が悪いと虫歯や歯周病になります。欠損した歯を補う材料にも様々なアイデアや技術が盛り込まれています。本講義では、身近な生体材料をもとに材料に要求されることを考えていきます。	高校生、一般など、応相談	随時	
65	創造工学部	教授	楠瀬 尚史	○	セラミックスの歴史～高温構造材料から機能性材料まで～	人類が最初に作り出した材料は、粘土を固めて焼いた陶器(土器)と呼ばれるセラミックスである。縄文時代には、セラミックスは単なる容器でしかなかったが、現在では、私達の生活を支える最先端の耐熱材料や電子材料に進化している。	高校生、一般など、応相談	随時	
66	創造工学部	准教授	松本 洋明	○	強い金属材料の仕組み(強化法、製造方法)	金属材料の研究開発は環境を配慮した軽量化・高強度化・機能化に向けた進展が強く要望されます。この講義では自動車や飛行機に使用される金属材料の強さの秘訣と強くするための手法を学びます。	高校生、一般など、応相談	随時	
67	創造工学部	教授	吉田 秀典	○	土壌汚染や汚染水の浄化について	汚染されてしまった土壌や水の浄化手法の説明を通して、環境保護の重要性と悪化した環境の修復の重要性を学んで頂くのと同時に、環境保全や環境修復には、科学的な手法が重要であることを理解して頂く。	応相談	中学生以上	
68	創造工学部	教授	野田 茂	○	必ず来る巨大地震にどう備えるか		応相談	一般成人	
69	創造工学部	教授	松島 学	○	住宅の建て方について	家はどのようにして作られるのかを説明します。さらに、家の設計で考えることを簡易に話をします。	応相談	小学から高校まで内容を変えて対応できます。	
70	創造工学部	准教授	岡崎 慎一郎	○	コンクリート工学	コンクリート工学に即した内容			
71	医学部	教授	三木崇範	○	養育環境が子供の脳発達に及ぼす影響 (担当:三木崇範、鈴木 辰吾、太田 健一)	当研究室の研究データを踏まえ、母子分離に焦点をあてて幼少期の養育環境の重要性を説く。	高校生、大学生、一般	応相談	
72	医学部	教授	三木崇範	○	アルコールが脳に与える影響 (担当:三木崇範、鈴木 辰吾、太田 健一)	妊婦が摂取するアルコール(飲酒)により子供に精神神経発達遅滞をはじめ様々な影響をもたらす。これを胎児性アルコール症候群と称している。研究結果をもとに脳の発達に及ぼす影響について概説する。	高校生、大学生、一般	応相談	
73	医学部	教授	平野勝也	○	生理学者と学ぶからだの不思議と仕組み (担当:平野勝也、山下哲生、橋本 剛)	3名の教員により、心臓、呼吸、代謝など人体生理学に関する基礎知識を講義する。健康を考える上で生理学の重要性について理解を深める。	中高生、一般	中高生の夏休み期間中	
74	医学部	教授	平野勝也	○	生理学者と学ぶ細胞の不思議と仕組み (担当:平野勝也、山下哲生、橋本 剛)	細胞生物学の視点から人体のはたらきとその仕組みに関する基礎知識を講義する。健康を考える上で生理学の重要性について理解を深める。	高校生、一般		
75	医学部	准教授	人見浩史	○	iPS細胞研究の実際	iPS細胞は再生医療の実現に重要な役割を担う細胞です。実際にどのように発見され、どのような研究が行われているのか、香川大学の成果も含めて説明します。	応相談	応相談	

76	医学部	准教授	人見浩史	○	iPS細胞臨床応用の実際	iPS細胞は患者さんの細胞から樹立することが可能で、再生医療に重要な役割を担う細胞です。iPS細胞の臨床応用について、何ができて何が計画されているのか説明します。	応相談	応相談	
77	医学部	教授	和田健司	○	暮らしを支える化学	我々の社会と生活に無くてはならないエネルギーや各種製品、環境の保持には、化学が深くかかわっている。こうした化学について、実例を挙げて判り易く解説する	高校生、一般	応相談	応相談
78	医学部	准教授	横平 政直	○	なぜ、人はがんになるのか(がん細胞発生のメカニズム)	正常細胞からがん細胞が発生するまで、遺伝子レベルでの変化に着目し解説します。また、そのような遺伝子変化を起こす要因やその予防についての話も盛り込みます。	小学生から一般の方まで、対象者に合わせて講演内容を調整します。	応相談	
79	医学部	教授	平尾智広	○	災害と健康管理	南海トラフ巨大地震などの災害発生時に必要となる健康管理の知識を紹介します。個人や家族、社員を守るために、避難所へ避難してきた人を守るために必須の事項です。	どなたでも可能	応相談	
80	医学部	教授	平尾智広	○	人にやさしい働き方	労働災害、過重労働、過労死から、かけがえのない人を守り、ワークライフバランスを実現し、健康で豊かな社会を実現するために、ともに考えましょう。	どなたでも可能	応相談	
81	医学部	講師	祖父江 理	○	臓器提供・臓器移植について	臓器提供に関する啓発です。	主に中高生	応相談	祖父江のみ
82	医学部	准教授	角 徳文	○	精神疾患、認知症など	その病気の特徴、症状、診断や治療など	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)	スケジュールに合えば随時	
83	医学部	講師	白神千恵子	○	加齢黄斑変性	疾患説明と治療	中高齢者	8月	
84	医学部	教授	白神 豪太郎	○	麻酔科学, 周術期医学, 集中治療医学, 痛み医学, 緩和医学に関するテーマ (担当: 白神 豪太郎、中條 浩介、浅賀 健彦、山上 有紀、別宮 小由理、澤登 慶治、武田 敏宏、築瀬 賢、植村 直哉)	手術の麻酔, 手術による痛みの緩和, 重症患者のケア, 慢性痛, 癌性痛など			
85	医学部	教授	前川泰子	○	やさしい身体の動かし方	自力で動けない人の身体を動かす際、人の本来の自然な動きを知ること、負担を少しでも軽減することができる。その基本的な動きを説明する。	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)	後期	座位、臥位など身体を動かせるスペース
86	医学部	教授	清水 裕子	○	カンボジア国における学校保健教育を通して国際支援のあり方を考える (担当: 清水 裕子、山本 麻理奈)	2017年3月から香川大学が香川県、JICA、カンボジア教育青年スポーツ省と連携してカンダール州における学校保健支援事業を実施している。35年ほど前に内戦を経験したカンボジアが未だ直面している教育課題への、国際的な相互支援のあり方をおし、平和を考える。	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)、企業、教育関係者	年間	プロジェクション環境
87	医学部	教授	大森美津子	○	老いと病に向き合う	老いとどのようになるのか。老いることで向き合う人生の課題は何か。老いの意味を考え、老いを活かした生き方を考える。病の意味を考え、病を活かして生きることを考える。	高齢者と家族 高校生	前期	話し合える人数
88	医学部	助教	西村 美穂	○	地域でいきいきと生活している高齢者と児童の交流について	引退後も、地域のために役割を持っていきいきと生活している高齢者に参加していただき、児童との交流を促す。交流によって、地域社会の中で、互いに繋がり、支え合って生きていることを感じることができるようにする。	小学校4年生以上	5、6、8月に可能	
89	医学部	講師	石川 かおり	○	1)たばこの健康被害について 2) 静脈血栓塞栓症について	1)タバコの健康被害について(小学生・中学生向け) 2)静脈血栓塞栓症(下肢静脈血栓症と肺塞栓症)について(一般向けの健康講座)	1)小学生、中学生 2)一般	応相談	
90	医学部	講師	村上 和司	○	虚血性心疾患とカテーテル治療について	虚血性心疾患とカテーテル治療について説明します(一般向け)	一般	応相談	
91	医学部	助教	辻 哲平	○	心肺蘇生とAED	心肺蘇生法とAEDの使用方法について説明します	1)小学生・中学生・高校生・大学生 2)教員・管理者 3)一般 4)企業	応相談	
92	医学部	教授	柴田 徹	○	①よく分かるがんの基礎知識 ②放射線治療について (担当: 柴田 徹、高橋 重雄)	①がんについて学び、がんを通して命の大切さを知る ②放射線について正しく理解する、③がん治療の進歩。医学・医療について(受講対象者に応じて内容の変更は可能です)	小・中学生から理系・医療系を志望する高校生まで(および保護者可)	応相談	
93	医学部	准教授	宮武 伸行	○	楽しく学んで、楽しく実践、やさしい健康講座	1)メタボのはなし、2)糖尿病のはなし、3)熱中症のはなし、4)高齢者の健康のはなし、5)運動のはなし、6)食事のはなし、7)こころのはなし、8)尿検査、便検査のはなし、9)たばこのはなし、10)健康診断のはなし、11)高血圧と生活習慣のはなし、12)がん予防のはなし、13)食中毒のはなし、14)ジュースのはなし、15)うんこのはなし、16)すいみんのはなし	1)~13)は中学生以上、14)~16)は小学生対象	応相談	運動実技のある場合があります。社会人大学院生等の参加の場合もあり。小学生は20分程度から柔軟に対応します。

94	総合生命科学研究センター	教授	神鳥成弘	○	ヒトの体をつくる分子	世の中にあるすべてのものは、分子がたくさん集まってできています。ここでは、体の中で働いている分子の3D構造について易しく説明します。	一般成人、中・高校生	応相談	パワーポイントの上映
95	教育学部	教授	永尾智	○	英語の成り立ち	英語の文法の諸相についていくつかの現象を取り上げて語る。英語の歴史的成立過程のいずれかの段階について語る。	ことば、言語としての英語に興味のある高校生	土日祝日、長期休暇中	パワーポイント、音声出力可能なパソコン接続環境
96	教育学部	准教授	吉川暢子	○	子どもの豊かな表現を育む遊び	子どもは遊びの中からたくさんを学んでいます。しかし、子どもに「〇〇させる」という行為を大人や教師が押し付けていないでしょうか？そこで、子どもが自ら「やりたい」と思う遊びや子どもの表現について考えます。	保育者、幼児の親、親子		講義スタイルではなく実技や演習を伴うワークショップ形式
97	教育学部	准教授	宮本賢作	○	子どもの健康に関わる環境(運動、生活習慣、メディア)について	最近の子供の体力低下問題、生活習慣の悪化、スマホやゲーム機等について、正しい理解と今後の生活のあり方について考える講義を行います。	小中高生と保護者	応相談	主として学校保健委員会で保護者も同席で講義を行いたいと思います。
98	医学部	教授	橋本忠行	○	こころの理解と支援	臨床心理学ではこころの理解について「心理アセスメント」という言葉を使います。問題や症状の側面だけではなく、長所や資質のような肯定的側面にも注意を払うべきだという意味が込められています。その実際に体験し、支援につながる方法を考えます。	高校生、地域の市民の方々	スケジュールに合わせて調整します	依頼に合わせて調整します
99	教育学部	教授	高橋尚志	○	科学することの喜び	科学実験とお話により、科学することの意味を考えます。	小学校、中学校、高校生、一般	応相談	
100	教育学部	教授	高橋尚志	○	表面の科学	物質の表面に光をあてて電子を見る科学 表面物性を実験で見る方法を解説し、生活の中でどう結びつくのかお話しします	中学校、高校生、一般	応相談	
101	教育学部	教授	高橋尚志	○	真空実験	小・中・高校生向け実験教室	小・中・高校生	応相談	
102	教育学部	教授	高木由美子	○	イオン液体の話	環境に優しい材料研究の大切さや、化学の面白さについてイオン液体を材料に概説する。	行事内容・対象に合わせる	公務に支障のない時期	
103	教育学部	教授	佐竹 郁夫	○	解析学の展開	現代数学の背後には、重厚な解析学の蓄積がある。これについて、その一端を解説したい。	高校生	応相談	
104	教育学部	教授	佐藤明宏	○	国語の授業のつくりかた	小、中、高等学校の国語科教員を対象に、国語の授業の教材研究の仕方、教材開発の仕方、学習指導案の書き方、具体的な発問、板書、ノート指導の方法等について講義したり、国語科授業づくりのアドバイスをします。	小、中、高等学校の国語科教員	いつでもよい	
105	教育学部	准教授	小森博文	○	体の中ではたらく分子について	私たちの体は、目には見えない小さな物質(分子)で構成されており、生命活動はこれらの分子の化学反応によって駆動している。主に、タンパク質のはたらきを通して、生命のしくみについて解説する。	高校生		
106	教育学部	教授	小方朋子	○	特別支援教育について	教育関係者、保護者、高校生に対して発達障害や特別支援教育について解説	教育関係者、保護者、高校生		
107	教育学部	准教授	松島 充	○	友達との対話を通して学ぶ算数・数学	友達との対話を通じた算数・数学学習を体験します。その体験から、学習における対話の意義について考えます。	小学生、中学生	応相談	
108	教育学部	准教授	上野耕平	○	児童期におけるスポーツ指導	児童期におけるスポーツ指導の在り方について、スポーツ心理学の観点から説明します。	一般	随時	
109	教育学部	教授	植田和也	○	人としてともに生きる、自分づくりなかつくり	(学校で行われている道徳教育や人権教育について)人として他者とともに生きることの大切さや、人として「したくてもしてはいけないこと」や「したくなくても しなければいけないこと」について考える。	小学生 中学生	応相談	
110	教育学部	准教授	大久保 智生	○	心理学を学と何がわかるのか				
111	教育学部	教授	竹中 龍範	○	ことばを学ぶ、文化を学ぶ	外国語を学ぶことは、すなわち、その文化をも学ぶことです。言語と文化とは車の両輪のようなもので、文化を担わない言語はありません。そのようなことを英語や日本語を例にあげて考えてみます。	中学校(3年生対象)・高校生(学年・学科を問わない)	前期:木曜日、後期:火・木曜日	
112	教育学部	教授	内藤 浩忠	○	大学で学ぶ数学	大学の教養課程(理科系)で学ぶ(であろう)数学の概説をする。高校までの数学との違いにもふれたい。質問の時間も十分に取りたい。(講義内容以外のこともよい)	高校生	応相談(基本的にはいつでもよい)	
113	教育学部	准教授	ポール・バテン	○	ニュージーランドの自然と環境保護				

114	教育学部	教授	毛利 猛	○	高校生のための教育学入門	教育学は、わたしたちの教育経験の反省に根ざした学問です。この講座では、自分が受けてきた教育を「責任ある教育者の立場」から振り返りながら教育学の基礎を学びます。	高校生	応相談	
115	教育学部	教授	山神 眞一	○	コミュニケーション力を育てる	人と人との出逢いにおけるより良いコミュニケーション力を育てる実技を交えた講義	小学校から高校まで	応相談	
116	教育学部	教授	野崎武司	○	スロージョギングで楽しく健康づくり	スロージョギングの実施方法とその効用を伝える。できれば実技を含めて。(野崎は、日本スロージョギング協会の公認アドバンス・インストラクターである)	一般	日程調整ができ次第	運動できる服装(実技の場合)
117	教育学部	教授	柳澤良明	○	教育系への進学を考えている高校生の皆さんへ	教育系への進学を考えている高校生の皆さんに、教員の仕事の身、教員になるまでの道筋、大学での学修内容、等について語ることで、進学へのモチベーションを高める。	高校生	とくに制限なし。	可能であれば、事前に参加予定者から質問を出してもらった上で、その質問に回答する内容を盛り込みながら話をしたいと思います。
118	教育学部	教授	柳澤良明	○	学校教育の国際比較－日独比較を中心に－	日本の学校教育と諸外国(おもにドイツ)の学校教育をさまざまな観点から比較することで、日本の学校教育が持っている優れた点や今後改善すべき点について考える。	高校生、一般(青年、壮年、高年)、教員、等	とくに制限なし。	柳澤からの情報提供の後に、参加者との質疑応答や意見交換ができればと思います。
119	教育学部	教授	鈴木正行	○	アクティブラーニングの意義と方法	深い学びの実現に向けて、社会科と総合的な学習の時間を中心に、討論、シミュレーション、ランキング、探究などのアクティブラーニング型学習の意義と方法について紹介します。	小学校、中学校、高校	主に木曜日の午後(都合がつけばそれ以外の時間でも可能)	一部、教員免許講習科目(社会と歴史の教育)などの内容と重なる場合があります。
120	教育学部	教授	櫻井佳樹	○	教育とユーモア	子どものユーモアを手掛かりに、子どもに関わる教育の魅力や人間にとって教育がもつ意味について考えます。	高校生	6月後半から7月の水曜日、木曜日	なし
121	経済学部	教授	宮脇秀貴	○	ビジネスゲームで経営を体験	ビジネスゲームを用いて、企業を経営する模擬体験を行います。また、特に会計情報の活用の仕方を学ぶ体験となります。	小学校・中学校・高校生・一般	授業その他の関係で変わります。	打ち合わせによって決まります。
122	経済学部	准教授	山本 裕	○	日露戦争と香川・四国	近代日本における最初の「総力戦」とも見られる日露戦争について、当時の香川・四国の青壮年の「経験」について、政策史・地域誌にも留意しながら考えます。	高校生・一般(青年、壮年、高年)	夏休み・春休み以外	
123	経済学部	准教授	柴田 明	○	経済と企業の倫理学から企業不祥事を考える	なぜ企業不祥事は繰り返されるのか。解決策はないのか。経済と企業に関する倫理という観点から、その解決策を理論的・実践的に考えてみたい。	高校生、一般(青年、壮年、高年)、ビジネスマン		
124	経済学部	教授	横山佳充	○	コンピュータによる統計学利用	高校生以下に、コンピュータを用いた統計学の利用の仕方やその活用方法などをまじえて解説する。	小学校、中学校、高校生	夏季や冬季における生徒などの休暇期間	コンピュータの基本操作に接したことがあることが望ましい
125	経済学部	教授	沖 公祐	○	資本主義の仕組み	資本主義は、歴史上のある時点にある場所で成立した特殊な経済システムである。この特殊歴史的な経済システムとしての資本主義がどのようにして成り立っているのか、をできるだけ分かりやすく説明する。	高校生、一般	いつでも可	
126	経済学部	准教授	宮崎 浩一	○	日本経済について	日本経済について講義する	高校生		
127	経済学部	准教授	大杉奉代	○	経営戦略	企業の基本的方向性を設定する経営戦略に焦点をあて、これまでの経営戦略論における論点を提示し、企業の経営戦略に関するさまざまな分析手法について講義を行う。	中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)、企業	相談(公務をさまたげない限り可能)	
128	経済学部	講師	高橋 昂輝	○	トロント市における移民街の観光地化	カナダ・トロント市は、北米を代表する多民族都市です。従来、移民街は、移民の居住・生活空間でした。しかし、近年、その特性は変化し、観光地化が進行しています。授業では、こうした移民街の観光地化について、背景も交えながら講義します。	高校生	応相談	
129	経済学部	教授	藤村和宏	○	広告からマーケティングを学ぶ	お菓子メーカーのテレビ・コマーシャルを視聴し、その内容の変化からマーケティングの目的の変化を説明する。この説明を通じて、企業におけるマーケティングの役割について理解を促したい。	高校生	通年可能	
130	経済学部	准教授	天谷研一	○	ゲーム理論と経済行動	人々の戦略的な駆け引きを分析する学問であるゲーム理論をわかりやすく解説する。模擬取引などの実習を通じて人間の経済行動への理解を深める。	高校生	応相談	

131	経済学部	教授	井上貴照	○	為替レートと国際貿易	為替レートの意味、為替レートの決定や為替レートと国際貿易との関係を学び、これらの関係が国民所得にどのように影響するのかを理解することで、為替レートが私たちの生活に関連していることを学びます。	高校生	60～90分	
132	経済学部	教授	姚峰	○	国際観光客地域選択の社会経済要因分析	応相談	一般成人 高校生		
133	経済学部	教授	姚峰	○	ノーベル経済学賞と時系列関係の因果分析	応相談	一般成人 高校生		
134	経済学部	准教授	藤原敦志	○	金融政策と日本経済	アベノミクスの「三本の矢」の1つとして採用された「大胆な金融緩和」について説明する。その政策の理論的な根拠や、実際の効果、副作用の有無などについて検討する。	高校生、一般	いつでもよい	
135	経済学部	教授	安井敏晃	○	保険の仕組み	我々にとってリスク処理に役立つ保険の仕組みについて概説します。もっとも、保険の得する利用法をお話する訳ではありません。	高校生	後期(10月以降。但しすみませんが、学内業務のため、参加出来ない日があります)	パワーポイントが使用できる環境をお願いします。
136	経済学部	教授	久松博之	○	大学で学ぶ統計学	高校数学I、数学A、数学Bで学習する内容には大学で学習する統計学の基礎が含まれている。高校数学と大学で学ぶ統計学とはどのように結びついているのか説明する。	高校生	後期	パワーポイントと板書による。パソコン、プロジェクタ、ホワイトボード、マイクを使用。
137	経済学部	准教授	向 渝	○	学ぶ経営学・使う経営学	経営学は身近な学問です。経営学の主な研究分野は何か、経営学を学ぶ意味は何か、初学者が疑問と興味を持つ内容について一緒に考えてみましょう。さらに新入生歓迎祭に模擬店を出店することを仮想して、経営学の知識を私たちに使ってみましょう。	高校生	日程調整の上、随時可能。	
138	経済学部	教授	大賀睦夫	○	四国遍路の現代性	四国遍路研究には多くのアプローチがありますが、私はとくに宗教心理学的アプローチに関心があります。どのような動機で遍路に来て、遍路でどのような心身変容を遂げていくかという問題です。	一般	授業がなければいつでも対応できます。	
139	経済学部	准教授	星野良明	○	2次関数のミクロ経済学	経済学部に入ったら一度は学ぶことになるだろう数学を使う経済学(特にミクロ経済学)において、数学の授業で学んでいる内容が経済の分析にどのように活用されるのか、問題演習を通して学びます。	高校生	応相談	
140	地域マネジメント研究科	准教授	中村正伸	○	予算って何?	組織で働いた経験のある方で、「予算」という言葉を聞いたことが無い人はいないはずですが、予算にはどんなことが期待されているのか、組織はなぜ予算を使うのか、予算の現代的な意義は何なのかを検討していきます。	一般	秋学期	
141	地域マネジメント研究科	教授	岩本直	○	これからの高齢化社会を生き抜く方法を考える —高齢化社会の課題を知り、自分自身の対応方針を立てていこう—	①これからの高齢化社会に発生する課題をまとめます(介護、税収不足、労働不足等) ②①で示した課題に対する自分自身でできること、自分が社会にできることを提示します。 ③なお、本講義では健康、年金といったような個人に関するものは取り扱いません。本講義では高齢化社会到来に係る地域の課題をまず理解し、これらの地域課題に対する自分自身の対応方針等について考えていく内容となっています。	高齢者、一般社会人、高校生、大学生、主婦、企業経営者、行政及び商工会議所・商工会職員等	応相談	
142	法学部	准教授	山本 慎一	○	法学部での学びと国際法・国際連合の世界	法学部での学習内容を紹介するとともに、国際社会の秩序を形成している国際法や国連の役割と課題、日本との関係性について、身近な事例を素材に解説することで、現代国際関係に対する理解を深める。	高校生	相談により決定	国際法や国連を中心とした国際機構の話に焦点を絞ることで、法学部志望者だけでなく、国際系や政策系の学部志望者にも対応可能。
143	法学部	教授	鹿子嶋仁	○	日常生活と法	水道料金と下水道料金の法的な扱いの相違など、学生でも身近に感じてもらえる素材を用いて、日常生活と法律の世界がどのように関わっているかを実感してもらえる講義。	学生(内容から高校生程度が望ましい)	公務に支障がない範囲で随時	
144	法学部	教授	柴田潤子	○	独占禁止法入門	価格カルテル、入札談合、下請法、優越的地位の濫用、再販売価格維持行為という独占禁止法の中心的な問題について解説する。	出前講義(高校生)、研修、生涯学習講座が可能		
145	法学部	教授	石井一也	○	発展と平和	世界の貧困は、平和を脅かすので、経済発展が必要でしょうか。しかし、それでは、人類に限られた資源を奪い合って、かえって平和を脅かすでしょうか。発展と平和という人類が追求してやまない二つの目標は、果たして同時に達成できるのかを考えます。	小、中、高、一般	不定期(授業や会議のない時)	

146	法学部	教授	石井一也	○	ガンディーの非暴力思想	2018年は、ガンディーの死後70年にあたる年です。グローバル社会が、暴力の様相をますます強めてゆくなかで、ガンディーによる非暴力の思想と実践について考えます。	小、中、高、一般	不定期(授業や会議のない時)	
147	法学部	教授・学部長	三野 靖	○	地方自治全般	地方自治に関すること(個別のテーマは要相談)	市民、学生	随時	地方自治に関することで、教員が対応可能なテーマ。個別に要相談。
148	法学部	准教授	吉井 匡	○	犯罪捜査と刑事裁判	犯罪捜査や刑事裁判、裁判員制度などの現状について、対象者の関心に応じて講義する。	中学生以上一般まで	応相談	個人が抱える刑事事件・トラブルに関する質問には応じられません。
149	法学部	教授	藤井 篤	○	現代史を学ぶ意味	現代史とは何か、それを勉強することは私たちにとって何の意味があるのか。戦争や植民地支配の歴史的経験を通して、今私たちに問われていることを考える。	高校生	応相談	
150	法学部	教授	堤 英敬	○	若者と選挙・政治	2016年から「18歳選挙権」が導入されましたが、今日の若者は政治や選挙をどのように捉えているのでしょうか。また、若者の政治への関与を高めるには何が必要とされるのでしょうか。様々な投票行動のデータや世論調査の結果を分析しながら、こうした問題について考えていきます。	一般(生年、壮年、高年)		
151	法学部	教授	堤 英敬	○	選挙について考える	選挙権を得たばかりの人たち、またこれから選挙権を得る人たちの多くが感じているであろう、なぜ選挙が必要なのか、なぜ投票することが大切なのか、どのように投票先を決めたらよいか、といった疑問について考えていきます。	高校生	応相談	
152	法学部	教授	前原 信夫	○	銀行の役割・機能について	経済活動における銀行の役割・機能を学ぶことで、私たちの日常生活と金融とのかかわりに対する理解を深めます。	中学生・高校生	応相談	
153	法学部	准教授	佐川 友佳子	○	犯罪と社会	犯罪とは何か、犯罪をするとどうなるのか、具体的な事例を参考に考えてみる。	小学生～高校生	応相談	
154	法学部	教授	金子 太郎	○	政治、経済、国際政治、哲学など	生徒に知りたいことを話してもらって講義する	中・高(小も可)	大学の講義やゼミがない日ならいつでも。後期は水曜(ただし会議の無い日)と木曜	
155	法学部	教授	平野 美紀	○	現代社会における犯罪と被害について	現代社会における犯罪や犯罪者の処遇、犯罪被害者支援制度を通して、社会の一面を考える。	小学校5年生以上	応相談	
156	法学部	教授	平野 美紀	○	死をめぐる自己決定と法的諸問題	死をめぐる自己決定(尊厳死や安楽死)などを通して、医療における患者の意思のあり方、それらにかかわる法律問題を考える。	小学校5年生以上	応相談	
157	法学部	教授	山本陽一	○	近代イギリスの法思想の歴史	17世紀の内戦から18世紀にいたる過程でイギリスの立憲主義の発展について法思想史の観点から論じます。	特に限定しない	夏休み等の休暇中がのぞましい	
158	法学部	准教授	春日川路子	○	民事の争いと民事訴訟—民事手続法入門—	一般の人の間での争いを取り扱う、民事裁判手続の概要を紹介する。刑事手続との違いやどのような争いが民事の対象になるのかを学問的観点から解説する。	中学校、高校生、一般	要相談(講演の2か月前までにご連絡ください)	民事訴訟手続を学問として紹介します。個別の事案についての法的なアドバイスは行いません。法律相談を希望される方には適さない講演であることを明記してください。
159	法学部	教授	肥塚肇雄	○	あなどれない自転車事故—備えるべきは保険—	交通安全の重要性はもちろんのこと、自転車事故による被害者と加害者の法律関係と、保険加入の大切さについて考えます。	上記テーマに関心がある方、特に中学生、高校生	応相談	
160	法学部	教授	肥塚肇雄	○	自動運転事故は誰の責任？	ドライバーが存在しない自動運転による事故が発生した場合、誰が責任を負うのか、被害者はどのようにして救済されるのか等について考えます	自動運転と法に関心がある方	応相談	
161	法学部	教授	肥塚肇雄	○	ビッグデータ、個人情報保護、そして、変貌する保険	さまざまな情報が吸い上げられビッグデータ化されています。個人情報を守るのでしょうか？今後さらに、リストウォッチからも健康情報が収集されていくと、生命保険等ははどうなるのでしょうか？こういう問題について考えます。	上記テーマに関心がある方	応相談	
162	法学部	教授	肥塚肇雄	○	知って得する生命保険の基礎知識	生命保険契約の基本的なルールは何か、どのような種類があるか等、知っているようで知らなかったりする生命保険の基礎知識を学びます。	上記テーマに関心がある方	応相談	
163	法学部	准教授	辻上佳輝	○	民法全体	遺言について 不動産について など 詳細は相談ください	誰でも	講義にかかからない範囲で	
164	農学部	教授	加藤 尚	○	植物のアレロパシーについて	すべての植物は、他の植物との間で栄養等をめぐり生存競争をしています。植物は、アレロパシーという方法で、この生存競争で優位にたとうとしています。このアレロパシーについて解説します。	高校生		

165	農学部	教授	京 正晴	○	植物細胞の個体発生能力	このテーマは通常の栄養繁殖とは違って、自然界では稀な現象です。しかし培養環境においてその能力をうまく引き出せれば、新しい育種法や効率の良い遺伝子組換え技術を開発できるかも知れない、という話です。	高校生以上	講義、実習期間と重ならない時期	高校生物を履修中または履修済であること。
166	農学部	准教授	古本敏夫	○	植物色素の色を変える	植物(花や根、食品や生薬など)に含まれている色素についての話と、酸や塩基を用いて色素の色が変わる様子を体験する。	小学校、中学校、高等学校	個別に調整します	小学校の場合、内容等により、先方の責任で安全等の配慮をお願いします
167	農学部	准教授	五味剣二	○	植物科学入門	身近な植物を材料にし、簡単な実験を体験することによって、生物学を魅力的な学問として感じてもらう。	小学生(3年生以上)	応相談	
168	農学部	教授	合谷祥一	○	食品のおいしさ	食品のおいしさ、化学的味(いわゆる味)、物理的味(食感など)について、分かりやすく解説します。	高校生、一般、食品関係の企業		
169	農学部	教授	佐藤正資	○	農薬のはなしー食の安全・安心の理解のために	農薬は私達の豊かな生活を担う重要な物質です。本セミナーでは「食の安全・安心」を理解するために役立つ農薬の話題についてお話しします。	中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)		
170	農学部	教授	山田佳裕	○	香川の水環境、農業と水、水辺の生物 等	水資源に乏しい香川県の水環境は、他の地域と違った特徴を持っています。水域の生態系や水質を解説するとともに、農業と水の関係について考えます。	特に制限無	随時	プロジェクター
171	農学部	准教授	小杉祐介	○	エチレン — 植物の成熟・老化ホルモンとしてののはたらき	私たちが普段食べている野菜や果物、花瓶に生けて観賞する切り花などは新鮮さがとても重要です。本講義では、このような園芸産物の鮮度や熟度と、植物ホルモンの1つであるエチレンの関わりについて解説します。	高校生	ご相談ください(授業等で都合がつかない日があります)	
172	農学部	准教授	松本由樹	○	おいしいお肉の向こうには…	鶏肉や鶏卵生産の裏側には、農家・研究者・行政獣医師の皆さんの工夫や苦勞のおかげである。「鶏の種類」、「鶏を育てる環境」、「鶏の健康を守るために」を知り、現状をお伝えするとともに最新研究を紹介する。	小学校、中学校	いつでも可	iPadやMESHタグを用いたグループワークを実施する。
173	農学部	准教授	松本由樹	○	おいしいお肉の向こうには…	素材の組み合わせにより吸血ダニを捕殺する技術を開発し、薬剤に頼らず被害低減できた。生物多様性に配慮しつつ、国際的な捕獲調査が可能となった。全世界で活躍する畜産・獣医教育での活用事例を紹介する。	高校生	いつでも可	iPadやMESHタグを用いたグループワークを実施する。
174	農学部	教授	深井誠一	○	どうして花は咲くのだろう	私たちの馴染みの深い花たちが季節ごとに咲く仕組みを優しく解説します。	高校生、一般	特に指定はありません	急なお申し出には対応できないことがあります。
175	農学部	教授	深田和宏	○	身の回りの化学物質	日常生活で使われている化学物質を取り上げ、我々の生活が化学製品の恩恵をどれだけ受けているかを考える。具体的例として洗剤と甘味料に焦点を当て、その製造法や性質、環境や健康に対する影響などを説明する。	一般および高校生	応相談	
176	農学部	准教授	杉田左江子	○	お米の起原、品種改良について	私たちの主食であるお米がどのようにして作物として利用されるようになったのか、また、お米の品種改良の方法について紹介します。	高校生、一般	応相談	
177	農学部	教授	川村 理	○	食の安全(食品添加物、残留農薬、放射性物質、カビ毒、食中毒、身の回りの毒など)	食の安全を脅かす事柄が多く報道されていますが、必ずしも科学的に正しい情報とは限りません。科学的に正しい食の安全についてわかりやすく講義します。	高校生以上、一般の方	随時可能。日時や講演内容・時間については事前にご相談下さい。	液晶プロジェクターとスクリーンが必要
178	農学部	教授	川浪康弘	○	植物が持っている香りの話	植物はそれぞれ特有の芳香を持っているが、昆虫を引き寄せ受粉を託したり、逆に害虫を寄せ付けないよう植物を守るために香りを産出すると考えられている。これらの香り成分について、分かりやすく説明する	中学生、高校生、一般	応相談	
179	農学部	准教授	田中直孝	○	微生物から人まで、細胞機能の巧妙な仕組みを眺める	微生物や人などの細胞レベルの解析から分かってきたタンパク質の役割が、細胞の機能に巧妙に繋がっている様子をアニメーションなどを見ながら紹介します。	高校生から一般	個別に調整します	PCがつながるプロジェクター
180	農学部	教授	田淵 光昭	○	微生物とヒトとの関わりー発酵食品、病気、バイオテクノロジーー	講演では、微生物の基礎、応用、微生物による病気そして最新のバイオテクノロジー(ゲノム編集)に至るまで幅広く人類と微生物との関わりについてお話ししたい。	中学生、高校生、一般	応相談	
181	農学部	准教授	小林剛	○	香川県の森林の特徴と植物の生態	香川県の森林の現状と諸問題、里山に生育する植物の生活、竹林の拡大の影響とその対策、ほか	小学生～一般;企業(対象者により内容を調整します)	主として大学の通常カリキュラムの講義実施期間・時間外	
182	農学部	准教授	市村和也	○	おもしろ植物サイエンス実験	本講座では植物から色素を取り出したり、顕微鏡を使って植物組織を観察したり、また植DNAを取り出して目で見てみるなど、植物科学の面白さを体感しつつ遺伝子も身近に感じてもらいます。	小学生(4年生以上)、中学生	前期、夏休み	傷害保険の加入、出前の場合は理科実験室の使用(必須ではない)。
183	農学部	准教授	市村和也	○	植物の機能とバイオテクノロジー	本講義では植物の代表的な生理機能である光合成と、生長やストレス応答と密接に関わる植物ホルモンについて概説します。次に、遺伝子組換え技術が中核となる植物バイオテクノロジーについても紹介します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	前期、夏休み	上記の植物バイオテクノロジーの話に植物に関する授業要素を加えた内容です。

184	農学部	教授	片山健至	○	森林とそのバイオマスの恵みを知ろう	森林は古来、人間の生活と文化の必需品を供給し、地域と地球の環境を保全しています。近年はバイオマスとして注目されています。森林と森林バイオマスの恵みについて話します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	随時可能ですが、日時などについては応相談	
185	農学部	教授	片山健至	○	天然の高分子化合物と人間生活	生物及びバイオマスは、主に高分子化合物(ポリマー)からできています。また、私達は多くの物質に囲まれて、豊かな生活と文化を営んでいます。例えば、木材、紙、食品(デンプン、タンパク質)、天然ゴム、ウールンなどであり、これらの生物・バイオマス由来の天然高分子化合物について話します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	随時可能ですが、日時などについては応相談	
186	農学部	教授	片山健至	○	讃岐三白から始めていろいろな物質を学ぼう	讃岐三白(塩・綿・砂糖)の物質としての特徴を学び、化学に詳しくなろう。塩は無機化合物、綿と砂糖は有機化合物、そして綿は高分子化合物(繊維状)で、砂糖は低分子化合物(二糖)である。さて、米、希少糖、さらにうどん、手袋、漆器はどうだろうか。	高校生	随時可能ですが、日時などについては応相談	
187	農学部	教授	望岡亮介	○	暑さに負けないブドウの品種改良	地球温暖化により、ブドウの色づきに問題が出てきていますが、栽培ブドウの近縁種の紹介とそれを用いて品種改良した事例紹介をします。	小学校(高学年)、中学校(全学年)、高校(全学年)、一般成人	個別に調整	
188	農学部	准教授	鳴海貴子	○	花の咲く仕組みから形づくりまで	花はなぜ咲くのか。市場に流通している花を題材に、花の咲く仕組みから形づくりまでを説明します。	小学生、中学生、高校生、一般(青年、壮年、高年)		
189	農学部	教授	櫻庭 春彦	○	微生物の世界	微生物は肉眼では直接観察することのできない、きわめて微小な生物です。この微生物の世界を幅広く紹介することがこの授業の目的です。微生物にはどのような種類があるのか、どこに住んでどのように生きているのか、また人間とどのような関わりを持っているのかなどを知り、目に見えない微生物が持つ素晴らしい能力について理解を深めます。	高校生	前期の木曜日、後期の火曜日・水曜日は授業等のため実施が困難	
190	農学部	准教授	柳田 亮	○	天然発がんプロモーターの化学	天然に存在する植物、微生物、動物由来の発がんプロモーターの構造、活性、作用機構について。			
191	農学部	教授	渡邊 彰	○	微生物とバイオテクノロジー	微生物は、自然界の物質循環において重要な役割を果たしているだけでなく、食品の製造や廃水処理など、我々の生活にも深く関わっている。本講義では、微生物が持つ多様な能力およびそのバイオテクノロジーについて紹介する。	中学生・高校生	日程調整の上、随時可能。	
192	農学部	教授 理事・副学長	片岡 郁雄	○	キウイフルーツの仲間と品種改良	キウイフルーツの仲間であるマタタビ属植物の紹介とそれらを活用した品種改良について紹介します。	小学校(高学年)、中学校(全学年)、高等学校(全学年)	個別に調整します	
193	農学部	教授	小川 雅廣	○	食品としての希少糖の魅力	希少糖とは何かから始まり、希少糖の性質や食品に添加した場合の作用などについてわかりやすく説明します。	高校生	特になし	
194	農学部	准教授	亀山 宏	○	政策評価入門	プログラムの成果のインパクトをどう評価する? インパクトを超えた評価は?	高校生	できれば定時の授業の期間以外で	パソコンの活用やワークショップ形式で
195	農学部/瀬戸内圏研究センター	教授	一見和彦	○	瀬戸内海の生物と環境問題	瀬戸内海に生息する微細なプランクトンやアサリなどの生態について紹介すると共に、赤潮や漁獲量の減少など、瀬戸内海が抱える環境問題について解説する	高校生・一般	日程調整による	Power Pointの使用
196	農学部/瀬戸内圏研究センター	教授	多田 邦尚	○	海洋科学、瀬戸内海の環境	①「海の科学」: 海水の性質や、そこに生息する生物、さらに海洋の食物連鎖や物質循環について ②「瀬戸内海の環境」: 身近な瀬戸内海について、過去の高度経済成長期から現在までのその環境の変化について	小学生(5年以上)、中学生、高校生、一般市民	個別に調整	
197	総合情報センター	准教授	後藤田 中	○	「ビデオ映像からのスポーツ分析 - ヒトの動きを解析する -」	スマホや家庭用ビデオカメラで撮影されたスポーツ現場でのヒトの動きが入った映像を対象に、家庭用パソコンとインターネットで入手可能なフリーソフトを用いて、簡単に分析できる方法について実例を用いながら学びます。	・ビデオ映像からPCを使って映像分析に取り組みたい学生(中学生以上)・または体育系の部活動などに取り組みたい地域スポーツの指導者・体育系部活動顧問など・教養として、世の中のスポーツ分析をどうやっているのか興味がある者	後期(可能ならH31年1月頃)	※サテライトの環境(電源状況・部屋の広さ)が不明なのですが、もし、参加者がPCを持ち込んだり、実際に体を動かすことが可能であれば、その場で撮影して、分析するような演習を入れたいと思います。→(今後ご相談)

198	総合情報センター	助教	米谷 雄介	○	「親子で楽しいプログラミング - スクラッチを用いたゲームづくり体験 -」	PC, タブレットあるいはスマートフォンと, ビジュアルプログラミング言語のスクラッチを用いて, 簡単なゲームづくりを通して親子でプログラミングの楽しさを体験します.	プログラミングに興味がある 小学校3年生～6年生までの 児童およびその保護者	後期(可能ならH30年 12月以降)	・児童1～2名に対し, 保護者1名の同伴をお願いします. ・スクラッチでプログラミングを実行するためには, PC, タブレットあるいはスマートフォンが必要となります. ※ サテライトの学習支援環境が不明なのですが, もしも受講者に対してPCやタブレットの貸し出しが可能であれば, それを受講者に使ってもらい統一環境で行いたいと考えています. そうした環境提供が難しいようであれば, タブレットまたはスマートフォンを受講者必携としたいと思いますが, 実のところスクラッチのタブレット・スマホでの動作対応が 2018年の第一四半期(4月～6月)と報じられており, インタフェースによってはどちらに統一するかなど不確定な部分がございます. それによってインストールしていただくものなど, 事前のインストラクションが変更になる可能性がございますので, 本案が仮に採用となった場合に, 掲載時期や掲載内容について今後ご相談をお願いできれば幸いです.
199	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	企画調整室 室長	藤澤 一仁	○	サイエンスカフェ (担当:金田義行、長谷川修一、 野々村敦子)	地球の歴史や四国の成り立ちを知ることにより, 自然からの恩恵と災害に備える姿勢, とっさの行動を身に着ける。	小学校高学年～高校生	常時	プロジェクター, スクリーン など
200	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授 副機構長 センター長	白木 渡	○	安全・安心の科学	災害、リスク、安全、安心、危機についての考え方や対処方法について分かり易く説明します。	中学生～高校生	常時	プロジェクター, スクリーン など
201	国際希少糖研究教育機構	准教授	森本 兼司	○	希少糖の作り方～砂糖との違い～	希少糖は微生物の酵素によって安価な単糖類を原料にして作られる。希少糖の工程とともに酵素の働きや水との関係について学ぶ。また砂糖との違いについても解説する。	中学生・高校生	随時可能ですが、日時などについては応相談 液晶プロジェクターとスクリーンがあること	